

ラグビーの魅力味わう

大館 小学生ら20人が体験会

大館市スポーツ協会（青柳 正隆会長）主催のラグビー体験会は26日、同市ニプロハチ公ドームで開かれた。大館ラ



高校生とタグラグビーを楽しむ児童たち
（ニプロハチ公ドーム）

大館ラグビー
スポ少の団員と一般の児童合
わせて約20人が参加。大館桂
桜高校と大館鳳鳴高校のラグ
ビー部員が参加者の指導をサ
ポートした。

グビスクイ
ルスポーツ少
年団の団員ら
が参加し、市
内の高校生た
ちと共に汗を
流して競技の
魅力と楽しさ
を体感した。
市ラグビー
フットボール
協会主管。子
どもたちへの
競技普及を目
的に毎年4月
と11月の年2
回行っている。小学3年以上と小学2年以下に分かれて体験した。このうち小学3年以上のグループは高校生らに交じってボールキックやパスを練習。相手と直接接触せずに腰のタグを取り合うタグラグビーでは、高校生らをかかわしてトライを決めるなど好プレーも飛び出し、世代を超えて笑顔で競技を楽しんだ。

船木健陽さん（城南4年）
は「高校生が速くて追い付けない場面もあったが、いいパスができて良かった。中高でもラグビーを続けたい」と笑顔を見せた。

R4、
11、
27
(日)

北
鹿
新
聞